

平成 28 年度地域包括支援センター事業実績報告

(平成 28 年 4 月から平成 28 年 9 月まで)

1 包括的支援事業

(1) 事業実績

(件)

相談項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年上半期	
支援センター相談件数	朝霧		205	162	172	176	167	174	1,056	1,184	
	大蔵		152	141	151	152	134	149	879	1,008	
	錦城		35	55	81	79	69	30	349	325	
	衣川		146	142	147	100	113	127	775	1,049	
	望海		165	161	222	175	184	161	1,068	999	
	野々池		159	133	229	137	133	147	938	830	
	大久保		145	144	127	119	134	115	784	845	
	大久保北		102	106	123	127	120	116	694	684	
	高丘		144	161	177	158	157	135	932	881	
	江井島		57	100	87	46	118	70	478	450	
	魚住東		118	131	100	167	172	137	825	818	
	魚住		206	207	234	201	208	214	1,270	1,243	
	二見		140	108	195	137	132	146	858	1,058	
	包括一般相談(延べ)	東 部		332	416	516	346	384	405	2,399	2,482
西 部			96	112	102	141	126	129	706	916	
総合相談・権利擁護合計	新規()	東 部	80 (28)	17 (7)	18 (4)	9 (5)	13 (2)	18 (5)	155 (51)	242 (56)	
		月間わり実数	80	67	75	115	84	106	527	722	
	新規()	西 部	133 (16)	26 (2)	17 (2)	15 (4)	13 (4)	20 (4)	224 (32)	251 (32)	
		月間わり実数	133	91	102	103	100	121	650	698	
内 訳	困難事例の対応	新規()	東 部	51 (13)	14 (6)	13 (2)	6 (3)	11 (1)	13 (4)	155 (29)	167 (36)
			月間わり実数	51	49	53	83	62	78	376	474
		新規()	西 部	103 (9)	19 ()	15 (1)	11 (3)	9 (2)	17 (2)	174 (17)	204 (25)
			月間わり実数	103	68	85	81	79	93	509	573
	成年後見制度の活用	新規()	東 部	19 (11)	2 ()	1 (1)	0 ()	1 ()	1 (1)	24 (13)	35 (12)
			月間わり実数	19	11	13	14	9	15	81	132
		新規()	西 部	15 (2)	1 ()	1 ()	1 (1)	1 ()	3 (2)	22 (5)	6 (3)
			月間わり実数	15	9	7	8	7	10	56	27
	高齢者虐待への対応	新規()	東 部	10 (4)	1 (1)	2 ()	2 (1)	1 (1)	2 ()	18 (7)	31 (4)
			月間わり実数	10	6	7	16	11	9	59	99
		新規()	西 部	13 (4)	6 (2)	1 (1)	3 ()	3 (2)	0 ()	26 (9)	36 (3)
			月間わり実数	13	12	9	14	14	18	80	86
消費者被害への対応	新規()	東 部	0 ()	0 ()	2 (1)	1 (1)	0 ()	2 ()	5 (2)	9 (4)	
		月間わり実数	0	1	2	2	2	4	11	17	
	新規()	西 部	2 (1)	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	2 (1)	4 (1)	
		月間わり実数	2	2	1	0	0	0	5	11	
老人福祉施設等への措置支援	新規()	東 部	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 0	0 0	
		月間わり実数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新規()	西 部	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 ()	0 0	1 0	
		月間わり実数	0	0	0	0	0	0	0	1	
活動別件数	訪問・面接	東 部	84	75	78	101	78	104	520	577	
		西 部	80	108	88	105	112	95	588	651	
	サービス担当者会議	東 部	148	204	137	190	216	242	1,137	1,168	
		西 部	219	92	217	140	125	147	940	1,365	
	連絡調整(電話・メール・ファックス)	東 部	409	430	494	541	420	526	2,820	2,964	
		西 部	625	549	721	730	722	566	3,913	4,236	

相談項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年上半期	
介護予防ケアマネジメント	プラン作成件数	東 部	6	22	14	24	20	17	103	132	
		西 部	24	30	23	22	11	10	120	165	
	内 訳	いきいき生活シート	東 部	0	0	0	0	0	0	0	0
			西 部	1	10	5	3	0	0	19	36
		プラン作成(新規)	東 部	0	4	2	5	3	2	16	22
			西 部	2	1	2	0	0	0	5	21
		プラン作成(再)	東 部	6	18	12	19	17	15	87	110
			西 部	21	19	16	19	11	10	96	108
	評 価	東 部	10	27	17	23	22	19	118	132	
		西 部	22	23	18	23	14	12	112	128	
	内 訳	一次予防事業へ	東 部	2	7	3	3	3	1	19	19
			西 部	0	1	1	1	2	0	5	10
		二次予防事業へ	東 部	8	18	13	19	19	15	92	112
			西 部	21	20	16	19	11	10	97	108
		予防給付へ	東 部	0	2	1	0	0	3	6	0
			西 部	0	2	0	2	0	2	6	5
		介護給付へ	東 部	0	0	0	0	0	0	0	0
			西 部	1	0	1	1	1	0	4	4
		転居・死亡	東 部	0	0	0	1	0	0	1	1
			西 部	0	0	0	0	0	0	0	0
活動別件数	訪問・面接	東 部	16	33	19	26	24	28	146	143	
		西 部	26	26	24	30	16	18	140	168	
	サービス担当者会議	東 部	0	2	0	0	0	0	2	0	
		西 部	0	0	0	0	0	0	0	0	
	連絡調整(電話・メール・ファックス)	東 部	189	194	177	219	235	152	1,166	1,058	
		西 部	227	209	232	222	175	183	1,248	1,620	
包括的・継続的マネジメント	ケアマネ相談	東 部	293	340	337	285	250	262	1,767	1,319	
		西 部	163	239	203	174	221	151	1,151	1,135	
	活動別件数	訪問・面接	東 部	81	74	74	62	70	68	429	402
			西 部	40	56	42	59	51	57	305	307
		サービス担当者会議	東 部	21	18	16	15	40	37	147	172
			西 部	2	1	13	13	17	12	58	92
	連絡調整(電話・メール・ファックス)	東 部	410	470	462	395	339	351	2,427	1,772	
		西 部	295	337	309	311	364	288	1,904	1,973	
	事業所巡回相談	東 部	0	0	0	0	0	15	15	15	
		西 部	0	0	1	0	2	3	6	2	

(2) ブロック活動

(回)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年上半期	
ブロック支援センター 連絡会	東部	明石	1	0	0	1	0	0	2	2
		西明石	0	1	0	0	1	0	2	3
	西部	大久保	1	0	1	0	0	0	2	4
		魚住・二見	0	1	1	0	1	1	4	3
中学校区支援センター 連絡会 (三者連絡会)	東部	3	4	3	3	3	3	19	13	
	西部	2	0	5	3	1	4	22	33	
サービスゾーン協議会	東部	0	4	1	1	4	3	13	13	
	西部	2	2	3	3	0	4	14	32	
ゾーン協議会主催 介護予防教室等	東部	3	5	10	8	6	6	38	41	
	西部	3	0	7	5	4	4	18	54	

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

①包括的継続的ケアマネジメント事業研修会

日程	内容	講師	会場	参加人数
H28.7.5	「気づきの事例検討会とは」 統合的なアセスメント力基礎知識や技術の再確認 専門職として必要な実践力の向上を図る	居宅介護支援事業所にじのすず 主任介護支援専門員 片山恵美子	明石市医師会館	88名

②介護支援専門員交流会

日程	内容	対象ブロック	会場	参加人数
H28.6.3	「CSN(ケアマネ スマイルネットワーク)会議」	魚住・二見ブロック	明石市医師会館	20名
H28.6.10	「CSN(ケアマネ スマイルネットワーク)会議」	大久保ブロック	明石市医師会館	18名
H28.10.7	「CSN(ケアマネ スマイルネットワーク)会議」	明石ブロック	城西会館	20名
H28.9.9	「CSN(ケアマネ スマイルネットワーク)会議」	西明石ブロック	兵庫県立大学地域ケア開発研究所	13名

③明石市要援護者地域包括ケアシステム研修会

日程	内容	講師	会場	参加人数
H28.9.29	地域包括ケア推進研修会	さわやか福祉財団 土屋 幸巳	明石市医師会館	123名

④内部研修会

(社会福祉協議会)

日程	内容	講師	会場	参加人数
H28.5.24	患者会からの情報提供	腎友会 戸田氏	総合福祉センター 社会適応訓練室	約20名
H28.6.14	患者会からの情報提供	ゆずりは明石 草野氏	総合福祉センター 社会適応訓練室	約20名
H28.6.28	認知症施策、認知症ケアパスについて	社協包括	総合福祉センター 技能訓練室	約20名
H28.7.12	ラフターヨガ	明石ニコニコラフターヨガ 須飼氏	総合福祉センター 社会適応訓練室	約20名
H28.7.26	総合事業について	高年介護室 十川氏	総合福祉センター 社会適応訓練室	約20名
H28.9.13	インフォーマルサービスの情報提供	社協地域福祉係 山本氏	総合福祉センター 社会適応訓練室	約20名
H28.9.27	基幹相談支援センターについて	基幹相談支援センター	総合福祉センター 技能訓練室	約20名

(医師会)

平成28年度は、講師を招く形での研修会は行わず、10人程度のグループに分かれて、そのなかで個人目標を定め、年度末までに3度、進捗状況を互いに確認し合うことにしている。第1回目の進捗確認を8月から9月にかけてグループで行っている。

2 指定介護予防支援事業

(件)

市域全体		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年上半期
受付件数	受付件数	134	119	138	125	132	112	760	778
	新規	132	119	136	124	132	110	753	758
	移行	2		2	1		2	7	20
地域包括担当分	給付件数	1565	1558	1549	1562	1562	1570	9366	9690
	新規件数	41	32	34	47	46	42	242	283
	継続件数	1524	1526	1515	1515	1516	1528	9124	9407
	プランチェック件数	396	356	365	357	253	290	2017	1913
	評価件数	338	313	375	328	260	263	1877	1777
一部委託事業所担当分	給付件数	2246	2266	2278	2284	2272	2315	13661	12338
	事業所数	183	187	185	188	189	192	1124	1139
活動別件数	訪問	959	984	512	1024	1049	930	5458	5590
	サービス担当者会議	231	183	211	203	221	229	1278	1300
	連絡調整	4683	4542	5104	4694	5005	4941	28969	28950

東部		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年上半期
受付件数	受付件数	71	63	80	69	67	64	414	407
	新規	69	63	80	68	67	63	410	390
	移行	2			1		1	4	17
地域包括担当分	給付件数	860	863	845	860	859	872	5159	5309
	新規件数	26	15	17	27	26	25	136	171
	継続件数	834	848	828	833	833	847	5023	5138
	プランチェック件数	224	184	193	161	135	145	1042	989
	評価件数	176	163	223	128	135	132	957	937
一部委託事業所担当分	給付件数	1151	1165	1163	1168	1164	1179	6990	6352
	事業所数	102	105	104	106	108	109	634	670
活動別件数	訪問	478	463	474	497	518	443	2873	2815
	サービス担当者会議	144	100	116	91	139	137	727	723
	連絡調整	3035	3031	3448	3085	3285	3247	19131	17783

西部		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	27年実績
受付件数	受付件数	63	56	58	56	65	48	346	371
	新規	63	56	56	56	65	47	343	368
	移行			2			1	3	3
地域包括担当分	給付件数	705	695	704	702	703	698	4207	4381
	新規件数	15	17	17	20	20	17	106	112
	継続件数	690	678	687	682	683	681	4101	4269
	プランチェック件数	172	172	172	196	118	145	975	924
	評価件数	162	150	152	200	125	131	920	840
一部委託事業所担当分	給付件数	1095	1101	1115	1116	1108	1136	6671	5986
	事業所数	81	82	81	82	81	83	490	469
活動別件数	訪問	481	521	38	527	531	487	2585	2775
	サービス担当者会議	87	83	95	112	82	92	551	577
	連絡調整	1648	1511	1656	1609	1720	1694	9838	11167

3 地域連携推進事業（医師会のみ）

①地域連携推進事業関連の会議等の開催状況

会議名等	開催数等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計					
専門部会	開催数	0	0	0	0	1	0	1					
調整会	開催数	0	0	0	1	1	0	2					
高齢者虐待防止委員会	開催数	0	0	0	1	0	0	1					
虐待ワーキングチーム	開催数	0	0	1	0	0	0	1					
虐待コアチーム	開催数	0	0	0	0	0	0	0					
ブロック会議事前打合せ	開催数	2	2	0	0	2	2	8					
ブロック会議	開催地区	—	—	—	1	3	—	—	—	—	1	2	7
	参加人数	—	—	—	56	207	—	—	—	—	60	118	441
研修会	開催数	0	0	0	0	0	1	1					
	参加人数	0	0	0	0	0	0	122	122				

②地域連携推進事業の動き

ブロック会議 事前打合せ	<p>より一層の地域包括ケア推進に向け、地域包括支援センターを中心に、在宅介護支援センター、介護サービス事業者連絡会居宅介護支援部会及び社会福祉協議会の地区担当者が、多職種協働の場であるブロック会議での協議事項等を話し合う場に出席し、ブロック会議の企画・運営を通して地域課題やその解決策等の情報が共有され、循環するよう後方支援を行った。</p>
ブロック会議	<p>【協議事項】</p> <p>第1回テーマ「医療と介護の連携」 第2回テーマ「身寄りのない方の支援における医療と介護の連携」</p> <p>個別事例検討会（地域ケア個別会議）からの課題抽出により、優先すべき市域課題の一つとして「医療と介護の連携」に関する報告があった。課題報告を受け、各ブロックの状況（医療機関など社会資源数など）にあわせながら、全ブロック統一のテーマで協議することとなる。第1回の協議の結果、医療と介護の連携のなかでもとくに「身寄りのない方の支援」に課題が多く報告された。これを受け、第2回は全ブロック上記のテーマで協議を行った。また、今年度から明石市看護業務連絡会の参画があり、医療機関への直接的な働きかけが行えた。</p> <p>【報告事項（情報提供）】</p> <p>1) 地域ケア会議（「個別事例検討会（地域ケア個別会議）」、「専門部会（地域ケア推進会議）」から抽出された課題や解決に向けた取り組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度及び日常生活自立支援事業につながるまでの金銭管理について（高年介護室） ・ ひとり暮らし高齢者、認知症患者、高齢者世帯の救急搬送における課題と取り組みに向けた協議等について（消防本部） ・ DNA Rの意思表示のある患者への対応について（消防本部）

	<p>2) その他の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東播磨医療・介護連携システム（案）について（明石健康福祉事務所） ・ 障害者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例について（障害福祉課） ・ 合理的配慮の提供を支援する助成制度について（障害福祉課） ・ 健康ソムリエ養成講座について（健康推進課） ・ 運転免許、返して安心プロジェクトについて（高年介護室） ・ がんについての相談（健康推進課） ・ インフォーマル情報（各ブロックごとに内容が異なります。） ・ 見守りれんらくばん ・ 「認知症のキホン」
<p>調 整 会</p>	<p>【第1回】平成28年7月12日（火） 【第2回】平成28年8月26日（金） 【報告事項】</p> <p>(1) 地域ケア会議からの課題整理及び提案として、第1回ブロック会議に引き続き、第2回ブロック会議では「医療と介護の連携」をテーマとし、その中でも『身寄りのない方の支援における医療と介護の連携』について協議をしようとの提案があった。</p> <p>(2) 「成年後見制度及び日常生活自立支援事業につながるまでの金銭管理について」 市が他県の取り組みについて調査分析し、明石市で運用可能か庁内で精査した結果、明石市では適法ではないと判断された。これを受け市独自のガイドラインを作成する方向となった。</p> <p>(3) 「ひとり暮らし高齢者、認知症患者、高齢者世帯の救急搬送における課題と取り組みに向けた協議等について」 市庁内で緊急連絡先情報が共有できる仕組みができた。</p> <p>(4) 高齢者虐待防止委員会活動</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 専門部会の議題について (2) システム研修会について (3) 医療と介護の連携に関連する過去のアンケートについて (4) ブロック会議で行う情報提供の内容について</p>
<p>高齢者虐待防止委員会</p>	<p>【第1回】平成28年7月1日（金）13:30～15:00 【報告事項】</p> <p>(1) 平成27年度（2～3月度）及び平成28年度（4～5月末）について件数報告 (2) 高齢者虐待対応の手引きの見直しについて (3) 成年後見制度及び日常生活自立支援事業につながるまでの金銭管理について</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 事例報告より、「通報相談までに時間がかかっている課題」が見えてきた</p>

	<p>ことを受け、今後の広報啓発活動について意見交換した。</p> <p>(2) 今年度の虐待防止研修会について</p> <p>(3) 関連機関との情報交換会について</p> <p>(4) 高齢者虐待防止委員会が適正な形で位置づけられるよう協議を進めていく件について</p>
専門部会	<p>【第1回】平成28年8月5日(金) 13:30~15:00</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 地域ケア会議及び市域課題について</p> <p>(2) 成年後見制度及び日常生活自立支援事業の相談から契約までの間の金銭管理について</p> <p>(3) ひとり暮らし高齢者、認知症患者、高齢者世帯の救急搬送における課題と取り組みに向けた協議について</p> <p>(4) 高齢者虐待防止委員会活動</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 身寄りのない要援護者に対する支援や取り組みについて</p> <p>(2) システム研修会について</p> <p>(3) DNAR(蘇生のための処置を試みない)の意思表示がある患者への救急対応について</p>
第1回システム研修会	<p>【日時】平成28年9月29日(木) 13:30~16:30</p> <p>【テーマ】「身寄りのない方の支援を通して医療と介護の連携を考える」</p> <p>【講師】公益財団法人 さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋幸己 氏 兵庫県東播磨県民局明石健康福祉事務所地域保健課 地域保健専門員 吉村信恵氏</p> <p>【参加人数】123名</p>

③事業の推進に関する取り組み

【東西合同リーダー連絡会の開催】

各センターで行った課題化会議(H27下半期分)の結果について共有し、地域での解決か、市域での解決か、解決が急がれるか否かなどについて協議を行い、市域課題を抽出した。その結果、第2回目のブロック会議は「身寄りのない方の支援に関する医療と介護の連携」について協議をしようとの提案を調整会で行う方向となった。

【市域の四者会議の開催】※四者…包括、在宅介護支援センター、社会福祉協議会、市

日常生活圏域の四者会議について、明石市在宅介護支援センター協議会事業推進担当者会議にてヒアリングを実施した。意見として次の3点にまとめられた。

- ① 地区により「連絡・報告・共有をした。」や「課題を持ち寄った。」というところがあり、市内である程度、会議の目的や今後の方向性を合わせることが必要。
- ② ケース検討から見えてきた課題を住民へ可視化し、ともに解決していくため、今後は住民に入ってもらい五者会議としていくことが必要。

- ③ 地区在宅サービスゾーン協議会でできればよいが、そこまでにはなかなか至らないので、次は、四者で各地区へは行っていくこと。これらの意向を市域の四者会議で報告し今後の進め方について協議した結果、以下の方向が計画された。
- 「13地区の四者会議の状況について市域で共有した。今年度の上半期の課題化会議を10-11月頃を目途に開催するに当たり、今後の方向性については地域包括支援センターの地区担当者よりアナウンスがあると思います。」と地域連携推進事業担当よりアナウンス。
- 地域包括支援センター地区担当より四者会議メンバーへ、地区の特性を尊重しアプローチ・取り組む対象地区（可能な限り超小地区）の選定を提案
- 今後の市域の四者会議の開催については、地域包括支援センター地区担当者から各四者会議へのアプローチを実施してみて考える。